

木づかいによる林業再生

主催：NPO法人才の木、森林・木材・環境アカデミー 共催：京都府
後援：林野庁、日本学術会議、日本木材学会、日本森林学会、京都新聞社、
KBS、NHK京都放送局、毎日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、
(社)京都府木材組合連合会 (予定)

地元で育てた木を、地元で使う。

このことは、健全な森林づくりに不可欠であり、また二酸化炭素の吸収など森林の持つ多面的機能を十分に発揮させるためにも欠かすことが出来ません。

この度、木材利用の促進によって森林の生産サイクルが循環する仕組みづくりを広く普及・啓発し、消費者サイドに立った日本林業再生の道を模索するために、地域材利用に取り組んでいる現場の取組に焦点を当てた「木づかいによる林業再生」シンポジウムを下記のとおり開催いたします。

また、前日の1月18日(金)には、「森林づくり」をテーマに、「森林と林業のつどい(京都府主催)」が、きょうと平安会館(京都市内)で開催されます。

「森林づくり」と「木材利用」を考える「つどい」と「シンポジウム」に、是非ご参加下さい。

シンポジウム「木づかいによる林業再生」

日時

2008年1月19日(土)
午後1:00-5:00

場所

京都キャンパスプラザ(JR京都駅前)

参加費

無料 定員170名

内容

主催者挨拶(1:00-1:15)

講演(1:15-3:15)

- ・木を暮らしの中に活かす現場から
「四万十ヒノキの森からの贈り物」
池 龍昇さん(株土佐龍代表取締役)
 - ・木の住まいづくりの現場から
「木で住まいをつくる訳」
田村宏明さん(企業組合もえぎ設計(京都・森と住まい百年の会代表理事))
 - ・住まい手の現場から(消費者の視点)
「ハウジング事業・・・消費者の気づき」
渡辺 明子さん(京都生活協同組合副理事長)
 - ・生産者と消費者を結ぶ現場から(流通の視点)
「流通業から見える・・・木づかい」
丸山 郁夫さん(元株高島屋京都店総務部次長(環境担当))
- パネル討論会(3:30-5:00)

シンポジウム(1月19日)に参加を希望される方は、下記により申込み下さい。

申込期限：平成20年1月11日(金)

参加申込書

申し込み先 ファックス 0774-38-3678(京都大学生存圏研究所、川井研究室宛)
または、メール yu-nakamura@rish.kyoto-u.ac.jp

所属・氏名：

連絡先：

懇親会の参加： 参加する 参加しない (該当する方に をしてください)

・会費 5,000円(当日徴収) ・会場 京都タワーホテルアネックス